

地域の労働者と青年の結集をめざす

# 横三労連新聞 第130号



2017年7月24日発行

docomo

au/ソフトバンク

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: [yv2t-tnk@asahi-net.or.jp](mailto:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp)

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



2017.06.27 17年度第2回評議員会@合庁クラブハウス 団結頑張ろう

私たちの歴史を開くために  
～横須賀三浦地域労働学校  
ダイジェスト～

## 評議員会に23名参加!

6/27(火)、第2回評議員会が行われ、評議員・幹事のほとんどが参加、参加者は23人に上り、盛会でした。

第2回評議員会の任務は、春闘の総括と、大会までの方針確立ですが、今回はそれに加え、6/9に再建された横須賀原水協への加盟を議題としていました。

各単組からの発言では、年金者組合の板倉評議員より、裁判の取組の報告、うわまち病院労組の阿部評議員からは、職員過半数代表選挙の取組の報告、

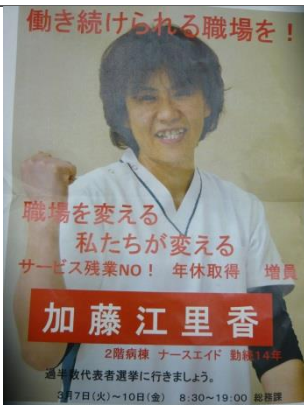
(うわまち病院の報告では、左下の加藤委員長のポスターが参加者の目を引きました。) 自交総連の長野評議員からは、横須賀ブロック協議会へのメトロとYキャブの結集問題と、提案された歩合制の廃止を芙蓉が拒否しているたたかいの報告、合同労組の大嶋評議員からは、この間の3人の労働相談の内容の報告、Hワゴ幹事からは、労働学校の報告、三浦市職労島田評議員からは、シニアスタッフ制度の問題と、新採用拡大の報告、神奈川みなみの秋本評議員からは、春闘の報告がありすべての議案が採択されました。

参加者が多かったため、熱気につつまれた評議員会となりました。

### 第3回 私たちの歴史をつくるために

講師は新谷昌之氏(神奈川県労働者学習協会副会長)で、「私たちの歴史をつくるために～私たちはどこに行くか(未来)～」という演題で講義がありました。復習も兼ねて、これまで学んだ史的唯物論と社会発展史の概要のお話がありました。そのうえで、現在の情勢とたたかひの展望について熱く語りました。「日本の現状は『日米安保条約』を廃棄し、『日本国憲法』どおりの社会＝独立・民主・平和の『未来』をめざしている」「改憲『発議』を阻止するたたかひが必要」「第1段階のたたかひは野党と市民の一点共闘により戦争法廃止内閣をつくること、第2段階のたたかひは日米安保条約を廃棄して憲法どおりの日本をつくること」だと訴えました。

今回の労働学校は、3回にわたり史的唯物論と人類が歩んできた歴史、そしてたたかひの展望について学びました。受講生の皆さん、お疲れ様でした。学んだことを力にして、これからの活動に生かしていきましょう。 A.H記



## 県労働センターとの意見交換会 今年も

以前は2年に一度だった、県労働センターとの意見交換会は、今年も7/18(火)に行われました(6年連続)。今年もメンバー変更が2名ありましたが、お馴染みも多く、県の労働相談の細かい統計報告を詳しく聞きました。労連側は、8年ぶりに参加した事務局長から、合同労組がこの間相談を受けてきた内容を、詳細に説明しました。